

5.7.29

清瀬小 後藤ひびみ

「クワツグミ」(3.4年) 授業記録

① 教材解釈 (展開案:別紙)

- 作者は、クワツグミが楽しそうに森の中で仲間とおしゃべりしていると思っていた。しかし、一日中、同じ森の中でしゃべり続けていることを不思議に思い、耳をすませて聴いてみる。すると、楽しそうにしゃべっていると思ったクワツグミは、実は恋しさにあふれ、誰かに来てほしいと訴えていると分かる。最後に、恋しくてたまらない「びい」を聴いた時、それは驚きに変わり、「そうなのか、それ程恋しいと一日訴えていたのか」と思った。

② 授業記録 (板書:別紙)

- 問題見つけをすば、なぜ途中から人間のことばはほかの気がなるため、一行ずつ「誰が言っているのか(誰の思いなのか)」を確認するが、「こちおいで」や「こいしいよお」は、作者だと、う考えが強く、対立になる。
仕方なく教師も参加し、クワツグミに1人として入る。

「こちおいで」は誰が言っているのか(誰の思いか)

作者(光太郎) ... 3人(全員)
クワツグミ ... 1人(教師)

13:45

- T1 では、先生ここに入ってみよう。おどわされなくてね。理由を言て先生を負かせてください。(このあたり方はよくない)
- T2 クワツグミは3行目と4行目と7行目だと思ふ。
- T2 それは決まったよね。
- T2 急に日本語になるのはおかしい。

なぜ突然「こちおいで」や「こいしいよお」は、子ども達の気になる問題下が対立しない以上「誰が言っているのか」は関心が薄いところからスタート。

(15:00)

- T3 急に作者か
- め 鳥とかは、「こちおいで」とかは言えないから
- T4 作者の思っていて鳥はこんな思っていないからね。
- T3 すいせんのラッパとかは、ありとかすいせんしゃべっているけど、クワツグミは、最初からしゃべっているから、だから作者。(T ああ、なるほどね、やっぱり作者の)
- T4 こちおいでと似て、「ちいさ」、「こいしいよお」はしゃべっているけど急に日本語をしゃべるのはおかしい。
- T5 すいせんだって、おかしいよ、カエリだって人間のことばしゃべるのはおかしいよ。
- T5 動物とか(昨年の教材)しゃべるけど、作者が思った感じ。
- T6 これって(掲示してある「すいせんのラッパ」の教材)。「おちおいで」って作者が思っているの。(Cアリ!)
- T6 アリが思て、作者が思った。
- T7 作者の思いなの、アリの思いなの?(めアリ)
- T7 確かに書いたのは作者だけど、アリの思い

△ 子ども達のつなぎを斡旋できず、対教師で進んでいく(対立が対教師のため、仕方ないとあきらめている。)

△ 子ども達は、クワツグミが人の言葉を話すのがおかしいと言っているのではなく、途中から話すのがおかしいと言っているに気がする。

- この後、物語は人の言葉を話してもよいが、詩はお話ではないと言うので、詩も短い話だと説明。

19:00

- め ジェア、クワツグミかもしれないってこと?
- T8 みんなが、人間の言葉はありえないって言うから、だったらあれ(「すいせんのラッパ」)もおかしいんじゃない。そういう理由ならね。他の理由探さなきゃ。納得できないよ。
- T9 ジェア、クワツグミって題名から、これ全部クワツグミのこと?(T 変わる?)
- T9 これは(1行目、2行目)は作者の思いじゃないの? さき、きいてるって言うてたじゃん。(Cはい)

(20:30~)

S10 あっ 私は、クロツグミが クロツグミに 言うわけないし、
クロツグミが人間に 恋しいって言う わけがないから
T10 お話だから、あるもよ。
C11 おや、そうなんか、クロツグミ
T11 何か出てきた？ この問題、熟成しておいて、
ここ（おや、そうなんだの行）から 問題見つけ
たら何か出てくるかもしれないよ。
C12 「おや、
T12 だれの 問題にして
C13 「おや、」がなくてもいいのに
T13 そう、「おや、」がなくてもいいのに...「おやって何？」
って 問題にすればいい。

- この後、イメージや例文づくりで、「おや」は
予想外で、「あれ!？」とか「おかしいぞ」
「えっ そうなの クロツグミ」という 解釈を確認。
- 先生も そう思っただよね。「おや、」って 予想とちがう、そこ
つなげてごらん。何が 予想だったのか、その中身
は 何なんだろう。(難しく、「おや」の 辞書の意
味を 伝えることにする。) びっくり。おかしい。

何に びっくり(おや?) だったの だろう

- ① クロツグミが 言ったこと (めらび)
- ② こっちおいてって 作者が 言って、来てくれたこと
(だから こいしいって 言った) (おや)

- 煮詰って、理由が 出てこないんで、イメージを確認した
「おや!？」 そうなんか クロツグミ」を 表現読みする。

△ 子どもの 問題作り
をとっている

△ つなげるのは 難し
かった。
それも、この 次点
では 難しいと
判断し、「何に
おや!？」 なのか
を 考えることに。

(28:25~)

C14 こいしいよう、こいしいよおって クロツグミが 言ってるかも
こいしいのが クロツグミで、そう、で 返事したから
(そうと 返事が あいだが、新しい 意見が出る)
T14 びい、で、びっくりしたんだって
C15 かもしれない
T15 これに 近いかな「クロツグミが 言ったこと」(めらび)
①と②番(①こいしいよおと ②びいの行)

- ① クロツグミが 言ったこと (こいしいよお、びい) 3人
- ② こっちおいてって 作者が 言っているのに
来てくれたこと 0人

- T16 あれ? おきは 人だ、ていってあげて、「こいしいよお」って
クロツグミの 思いなのか... 変わったばら 何か 証拠を
見つけたらいいね。
- 一行目と二行目に 戻り、作者が 気づけていることに
クロツグミが「ちびちび」や「びいびい」で 応
えている イメージを 話し出す。
- 作者の 疑問 に対する 答えは どこまで なのかと
探ると、また「こいしいよ」は クロツグミの
思いではないように 思えてきて 迷っている。

(V2)
(3:15~)

- C16 作者と クロツグミは 同じこと 考えてるんじゃないの?
- T17 どこで そう 思ったの
- C17 こいしいよおって 言ったら、返事してし
- T18 聞いたこと (こいしいよお) と 返事 (びい)、て、お
どう 思う? (C 答え外す) 証拠 あればね。
これ (1行目・2行目) 証拠 あるでしょ?

△ 「びい」と 「そう」を
整理してあげよう。

△ クロツグミが 言ったこと
の中身を めらびに
確認せず、6行目と
7行目を 入れてあげよう。

△ 作者は よく 聴いて
みまうしたけれど、
クロツグミに 気づけてい
るわけではない。

△ 感覚的な 発言を
どう 根拠づけられるか
浮かばない。

△ 「こいしいの?」「びい」
ということの、あいまい
にしてしまった。

No.

Date

• 文が丸で切れていて、同時に言っていないことに気づかせる。

• 「何しやる？」ときいて、「はい」と返事してくれたことにびっくりの意見が出てくる。「はい」がなければびっくりはしない。

• 出てこないので、「おかしくない？」と、点穴丸を見ていく。

8:00

め18 あっ 作者が言ってることと、クログミが言ってることかまざってる。

T19 一つの文に、まざっているって変じゃない？
文はつながっているの、いないの？（ここはつながって
いない）（C つながっている）
人が変わったんでしょ。作者に。なぜ丸にしなの？

- 高村さんがまちがえたのか
- 以前に動画でクログミを見たことを思い出して
「あの時も一羽だから、一羽でさびしいのかもの
意見が出る。
- 3行目から一行ずつ、つながっているか、いないかを
確認していく。

14:30

め19 ぜんぶつながっている。 <タイム>

T20 ぜんぶつながってるって、どういうこと？

さ20 つながって... ちびちびから... びい。

こ21 一気にしゃべってる

T21 一気にしゃべってるんだよね（こ それからびいって）

- 一気にしゃべって、最後、どういって「びい」だったの？

(C びい...) うれい びい？

△ 「何しやる？」と
たずねているイメージに
しはられている。

△ 丸まで一文？
あり、切れる
ことはない基本
を分らせて
いたかった。

(16:00~)

め22 こいしい、びい

T22 どのくらいこいしいの？

こ23 めっちゃさびしい。

め24 こいしいよあって、→なら ちびちびだけ、2つ切れて
るから、すく 恋しい。すく 寂しい。

< 6/30 音読 1:12~2:35 >